

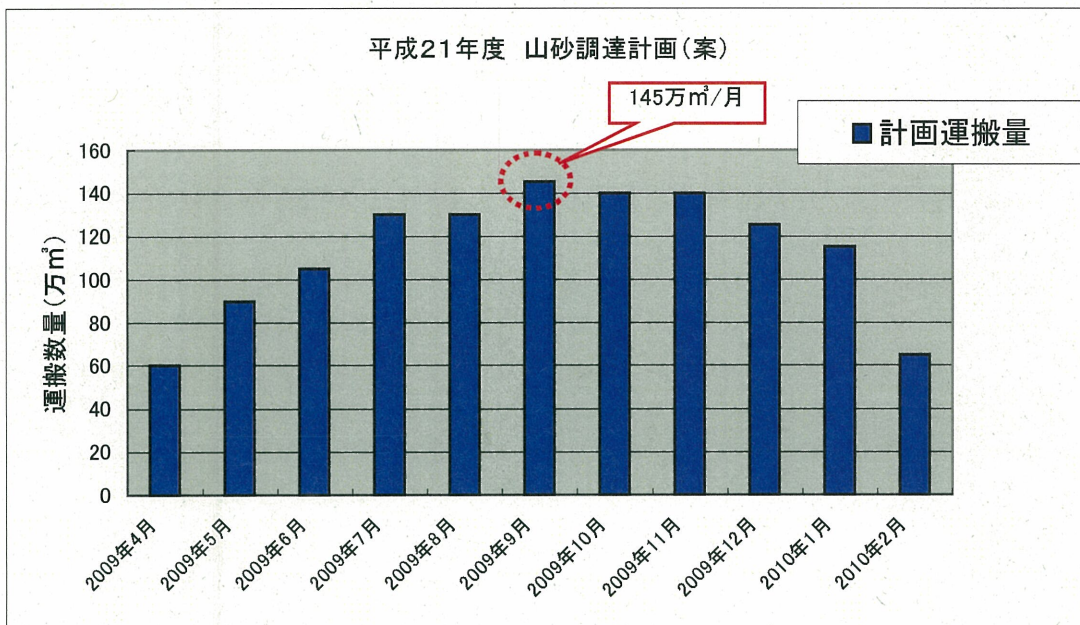
山砂運搬に関する主な意見

【経緯】

平成21年3月25日に「羽田再拡張D滑走路建設工事 山砂運搬に係わる打合せ(以下、「打合せ会」)」を開催し、平成21年度の山砂運搬計画(案)(下記グラフ)を各関係者に事前に提示した。

平成21年度は本格的に埋立工事に着手することから、過年度(平成19年度、20年度)に比較して全体的に調達土量が多いことや、9月には最大145万 m^3 の調達を行いたいことを説明し、運搬に対する協力を求めた。

【提示資料】



各関係者から次の意見を受けた。(多数意見)

○昨年7月に今までで最大の運搬(120万 m^3 /月)を経験したが、クレームが多かったことから、月間の最大運搬量についてはこれを上限とすること。また、観光シーズン(夏季)に対する配慮をすること。

○高速道路における土砂飛散防止措置として、ダンプ荷台のシート養生をすること。

○一般道路への泥引き(沿道環境保全)に対し、協力すること。

○運転手に対する運搬計画・運搬規則の周知について徹底すること。(他県ナンバーや新規入場者へは特に配慮すること。)

○新規土源等においては状況により、現地に見張り員を設けるなど交通安全に対する配慮をすること。